

資料.9

○ 待機児童解消の状況等について

保育量の拡大については、「新！ひのっ子すくすくプラン」に基づき進めてきました。

令和6年4月時点で、待機児童数は前年比微減となっておりますが、特定の地域で申込みが若干集中するなどの保育需要の偏りが生じています。

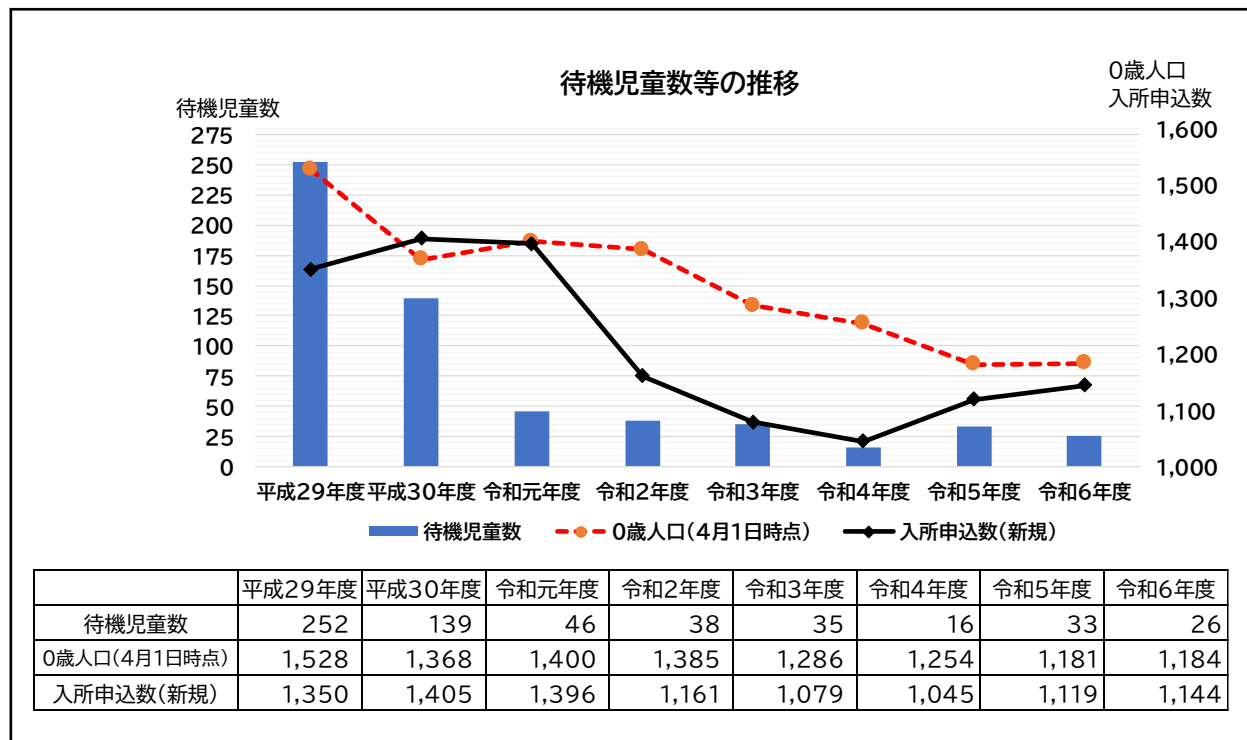
こうした偏りの解消を進めると共に、引き続き未就学児童人口や就労意向の変化等に注視しながら、利用定員弾力化による定員拡大、緊急1歳児受入事業の定員拡大など、必要に応じて待機児童解消に向けた対応を検討してまいります。

(1) 待機児童数等の推移

令和元年度までの保育施設整備により、平成29年4月1日時点で252人の待機児童数は、令和6年4月1日には26人となっております。（前年比7人減）。待機児童が発生した要因としては、申込数が増加（1,144件（前年比25件増））したことや吹上多摩平保育園豊田分園や栄光保育園南平分園が閉園したことなどが影響しております。

近年の日野市の0歳児人口は減少傾向であることから、今後待機児童数は減少傾向にあるものと推測しております。

社会情勢の変化等にも十分注視し、今後の保育需要を見極めていく必要があります。



(2) 今後の取り組み

- ① 吹上多摩平保育園豊田分園跡地の活用「(仮称) わらべ豊田駅南口保育園」
 - ・改修整備費等、22,337 千円を6月補正に上程
 - ・令和7年4月1日開所予定
 - ・旧分園と同じ 定員 24 名 (0歳：6名、1歳：9名、2歳：9名)
 - ・「緊急1歳児受入事業」を空きスペースで実施
 - ・「多様な他者との関わりの機会の創出事業」の実施
- ② 緊急1歳児受入事業枠の拡大予定